

恵みと真理のニュース



2013 年 9 月の四次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



【証】 神様は私の二人の娘を守ってくださり前途を導いてくださいました。

私は結婚してアンヤンで定着しながら恵みと真理教会を通い始め今年 26 年目になります。今まで信仰生活をしながら神様から受けた祝福は数えられないです。その中で特に私の二人の娘に与えてくださった神様の恵みと愛を証すること神様に栄光を捧げます。神様の恵みと摂理で得た二人の娘は教会学校の幼稚部から通いながら聖歌隊で頑張っって奉仕して体と信仰がきれいに成長しました。学校に行く日には朝起こすため大騒ぎしましたが主日には自ら朝早く起き教会に行き練習の練習もして1部礼拝の聖歌隊で頑張っって奉仕しました。そのような娘達が殊勝でした。ところが、長女が大学入試に失敗してとても楽段しました。娘は子供の時からピアノを習いましたが大学の進学の前もって遅く進路をピアノを専攻で決めました。実技練習を多く出来なかったし大学の情報も足りなくその年の入試には失敗してしまいました。私は落段した娘に“今年は準備も足りなかったし、祈りも足りなかったかっただけでもう一度やってみよう。最善をつくして入試を準備しながら頑張っって祈れば神様が必ずあなたが願う道よりもっと良い道に導いてくださると思うよ。”と勇気を与えました。そして、今よりもっと礼拝し奉仕もすることを進めました。そして、願った大学に難なく合格して喜びで神様に感謝しながら栄光を捧げました。今娘は教会で聖歌隊の伴奏者として奉仕しています。周りの聖徒からも褒められ私には一番甲斐と誇りです。二番目の娘が中学校3年生になった時、私の友達から国際交換学生協議会で海外に交換学生を集めるお知らせを聞いて二番目の娘に応募するように勧めました。娘は試験に合格すればアメリカに送ってくれるだっって大きい関心をみせました。願書を提出して私と娘は

教会に行き神様の助けを求めながら切に祈りました。ついに合格通知を受けました。親と娘が共にする面接で娘は面接官に大胆に“英語を習うために目的もありませんがそれよりも海外文化を経験してこれから多くの国々の人々にイエスの愛と福音を伝える人になりたいです。”と自分の希望を言いました。娘は6ヶ月間教育を終えてアメリカに留学に行くようになりました。私の娘がアメリカでキリスト教の学校に入って、クリスチャンの家庭でホームステイする事を願ひ祈りました。神様は私の祈りを聞いてくださり私の願ひの通り与えてくださいました。アメリカ国務省から娘の面倒をみて一緒に暮らすことを願う家庭があると連絡がきました。その家庭を調べて見たら祈ったとおりクリスチャン家族でした。その家庭の夫婦から電話ががかってきて自分の娘が通うキリスト教学校に入学するように積極的に助けると言いました。神様の細密な摂理と助けに感激しながら感謝を捧げました。協議会で進める国立学校は授業料が免除されるが私立学校では授業料を払わなければなりません。しかし、私は娘が不慣れた国で一人で勉強する事を考えると私立学校でもキリスト教学校で入学させたかっただけです。勉強ももちろん大事ですが相変わらず信仰生活をするのがもっと重要だし、もしかして不良の友達に付き合うか心配になったからです。ところが、ホームステイの家庭の方の紹介のおかげで授業料50%も減免をうけキリスト教学校に入って勉強するようになりました。最終の結果を聞いて私は“神様、感謝します。”何回も言い叫びとても嬉しく喜びながら神様に賛美を捧げました。娘はシカゴにあるキリスト教学校で主の愛と助ける恵みの中で予定した学業を無事に健康に終えました。そこで勉強する間にも頑張っって教会を通いながら賛美

宣教団で奉仕して教会の助けでアメリカのいろんな所を旅行しながら見聞を広めました。娘は言いました。慣れてない所で勉強する間大変で落ち込む日には夜夢で主が英語の先生になってくださり寂しいときには“恐れるな、私があなたと共にいる。”という御言葉と聖霊の慰めで力をくださったそうです。そのように親密に驚くべき愛と贖いを与えてくださった神様に感謝を捧げます。韓国に帰って来た娘が高校2年生のときに再入学して3年生になって大学の入試の問題が出来ました。韓国の学校とアメリカの学校の学士制度が違っってアメリカで受けた成績は認定されなくてその年の一般入試には大学入学が難しいでした。予想しなかった難関にふつかいましたが私の家族は今まで娘を守って導いてくださった神様の摂理を考えながら“神を愛する者たち、つまり、御計画に従っって召された者たちには、万事が益となるように共に働くということ、わたしたちは知っています。”という御言葉に委ねみんなで祈りました。そうして、難なくその年に随時入試で大学に進学しました。二番目の娘は現在教会学校の幼稚部で教師で奉仕する一方教会学校の英語礼拝部、英語聖書勉強部、幼年部と小等部の子供達のため英語聖書教師としても奉仕しています。私の二人の娘が子供の時から恵みと真理教会で信仰教育も受けながらよく育ってられた事、受けたタレントで熱心に主と主の体である教会を仕えるようにしてくださった神様の愛と恵みに感謝を捧げます。今まで大変な時二人の娘の進路を導いてくださった神様がこれから相変わらず見守っってください神様の国のためにもっと献身するように導くことを信じます。私達の家族は全て与えられた職分と使命をいつも真面目に忠誠して信じる家庭のモデルになる事を願ひ神様に栄光を捧げます。



【信仰コラム】 霊的(れいてき)な人(ひと)

…兄弟たちよ。わたしはあなたがたには、霊の人に対してのように話すことができず、むしろ、肉に属する者、すなわち、キリストにある幼な子に話すように話した。あなたがたに乳を飲ませて、堅い食物は与えなかった。食べる力が、まだあなたがたになかったからである。今になってもその力が無い…(コリントの信徒への手紙-2:14、3:1、2)

滅亡(めつぼう)の道(みち)を行(い)く罪人(ざいにん)を救援(きゆうえん)するため、聖父、聖者(せいじゃ)、聖霊(せいれい)神(かみ)様(さま)が一緒(いっしょ)に働(はたら)いています。、イエス・キリストを信(しん)じるようになるのは聖霊(せいれい)が罪(つみ)に対(たい)して、義(ぎ)について、審判(しんぱん)について間違(まちが)った考(かんが)えを正(ただ)してくれないからです。。。だから、聖霊(せいれい)様(さま)とどんな関係(かんけい)にあるのかというのがあの人(ひと)の運命(うんめい)を左右(さゆう)することになります。このような事実(じじつ)を考(かんが)えながら3種類(しゅるい)の人(ひと)について見(み)てみます。第(だい)一(いち)は、肉(にく)に属(ぞく)した人(ひと)がいます。罪人(ざいにん)に出生(しゅっしょう)されたそのままの人(ひと)、魂(たましい)が皮(かわ)と罪(つみ)で死(し)んだ状態(じょうたい)にある人(ひと)を意味(いみ)します。これらをいくつかの類型(るいけい)に分類(ぶんるい)することができます。神(かみ)様(さま)の存在(そんざい)を全(まった)く認(お)とめないは無神(むしん)論者(ろんしゃ)、多(お)くの神々(かみがみ)があると信(しん)じる多神論者(たしんろんしゃ)、神(かみ)様(さま)がいらっしやるかいらっしやらないか有限(ゆうげん)な人間(にんげん)としては、知(し)ることが出来(でき)ないと主張(しゅちよう)する不可知論者(ふかちろんしゃ)、何(なん)を信(しん)じててもそれなりに信(しん)じて善良(ぜんりょう)に暮(く)らしたら助(たす)からと主張(しゅちよう)する宗教(しゅうきょう)多元(たげん)主義(しゅぎ)者(しゃ)、イエス・キリストを信(しん)じなければならぬとするが、実際(じっさい)は聖書(せいしょ)通(どお)りのイエス・キリストがなく、混雑(こんざつ)して偽(いつわり)りの教理(きょうり)と思想(しそう)を信(しん)じる混合(こんごう)主義(しゅぎ)者(しゃ)がいます。肉(にく)に属(ぞく)

した人(ひと)は救援(きゆうえん)の恩(おん)と真理(しんり)である十字(じゅうじ)架(か)の道(みち)を愚(おろ)かなものと考(かんが)え、神(かみ)様(さま)が私(わたし)たちに恩(おん)としてくださったことに気付(きづ)いていません。聖霊(せいれい)を受(う)けられず、精神(せいしん)的(てき)に死(し)んだ状態(じょうたい)だからです。聖書(せいしょ)に啓示(けいじ)された通(どお)りのイエス様(さま)を信(しん)じない人(ひと)も聖霊(せいれい)がない人(ひと)で、肉(にく)に属(ぞく)した人(ひと)です。第(だい)二(に)は、肉身(にくみ)に属(ぞく)した人(ひと)がいます。聖霊(せいれい)で生(う)まれ変(か)わるはしたが、霊的(れいてき)な進歩(しんぽ)が遅(おそ)い、昔(むかし)の人(ひと)に属(ぞく)した気質(きしつ)、習性(しゅうせい)がたくさん残(のこ)っている信者(しんじゃ)が肉(にく)に属(ぞく)した人(ひと)です。肉身(にくみ)に属(ぞく)した信者(しんじゃ)は分裂(ぶんれつ)と争(あらそ)いを起(お)こします。党(とう)を建(た)てて教会(きょうかい)の秩序(ちつじょ)を害(がい)します。猜忌(さいぎ)の念(ねん)が多(おほ)い。驕慢(きょうまん)です。よくおこります。試験(しけん)によく陥(お)ちます。信仰(しんこう)生活(せいかつ)に波(なみ)がひどいです。恨(うら)んで不満(ふまん)を言(い)うこと好(す)きです。聞(き)くだけで行(おこ)っていません。第(だい)三(さん)は、霊的(れいてき)な人(ひと)がいます。神霊(しんれい)した人(ひと)がなる基本(きほん)は、イエス・キリストを信(しん)じて聖霊(せいれい)へ生(う)まれ変(か)わることです。このような変化(へんか)を着(き)た人(ひと)は精神(せいしん)的(てき)成長(せいちょう)に向(む)けて目標(もくひょう)を設定(せってい)して聖(せい)霊(れい)様(さま)の助(たす)けを求(も)めながら次(つぎ)のように努力(どりよく)しなければなりません。第(だい)一(いち)は、すべてのことを神(かみ)様(さま)の栄光(えいこう)のためにしようと努力(どりよく)しなければなりません。その具体(ぐたい)的(てき)な態度(たいど)は全(すべ)てのことを神(かみ)様(さま)の供給(きょうきゅう)する知恵(ちえ)と力(ちから)とするようにすることです。すべての事(こと)の成就(じょうじゆ)は神(かみ)様(さま)の助(たす)けたことによるものであることを徹底(ていてい)的(てき)に認識(にんしき)し凡(ほん)事(じ)に神(かみ)様(さま)の能力(のうりょく)にいつも依(い)ぞんして働(はたら)くのが神(かみ)様(さま)に榮

光(えいこう)する人生(じんせい)の姿勢(しせい)です。第(だい)二(に)は、神(かみ)様(さま)を嬉(うれ)しいようにする者(もの)なることを努(つと)めなければなりません。その具体(ぐたい)的(てき)な態度(たいど)は神(かみ)様(さま)の人(ひと)がらに適切(てきせつ)に行動(こうどう)することです。善良(ぜんりょう)で、義(ぎ)を貫(つらぬ)いて真実(しんじつ)の神(かみ)の人(ひと)がらに適切(てきせつ)に行(おこ)なうと神(かみ)様(さま)を喜(よろこ)ば呼(よ)び立(た)てします。また、神(かみ)様(さま)を全面(ぜんめん)的(てき)に信頼(しんらい)して行動(こうどう)することです。神(かみ)様(さま)の指示(しじ)通(どお)りに傍注(ぼうちゅう)を予備(よび)たノア、神(かみ)様(さま)のお言葉(ことば)を聞(き)いて行(い)くことを知(し)らなかつたものの、直(ただ)ちに出生(しゅっしょう)したアブラハムがそうしました。霊的(れいてき)な者(もの)は聖霊(せいれい)の引(ひ)き渡(わた)すことをしたがって生(い)きたために霊的(れいてき)な分別(ぶんべつ)力(りょく)があつて神(かみ)様(さま)の栄光(えいこう)を求(も)めて、神(かみ)様(さま)を喜(よろこ)ば呼(よ)び立(た)てしたために、どのように行(おこな)われるものかを正(ただ)しく判断(はんだん)します。神(かみ)様(さま)の栄光(えいこう)を求(も)めて、神(かみ)様(さま)を嬉(うれ)しいようにしようとするために患難(かんなん)時代(じだい)と困窮(こんきゅう)と試験(しけん)を十分(じゅうぶん)に克服(こくふく)し、これによってさらに主(しゅ)に近(ちか)くに進(すす)むことになりま。肉(にく)に属(ぞく)した人(ひと)は救援(きゆうえん)を得(え)ません。将来(しょうらい)、白(しろ)くて大(おお)きな補佐(ほさ)、審判(しんぱん)台(だい)で審判(しんぱん)を受(う)け、地獄(じごく)の刑罰(けいばつ)に立(た)たされるようになります。体(たい)に属(ぞく)した人(ひと)に生(い)きていけばキリストの審判(しんぱん)台(だい)で数値(すうち)を受(う)ける事(こと)になります。反面(はんめん)、霊的(れいてき)な人(ひと)に生(い)きていけばキリストの審判(しんぱん)台(だい)で賞賛(しょうさん)と賞(しょう)を受(う)けることになりま。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム『緑の牧場、清い川』本の語り中」



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

その九つはどこにいるのか？

イエス様は哀れみを施してくださるのを懇請する者等に向けて直ちに回答なさいました。“行って祭司たちにあなたがたの身を見せなさい。”この言葉は彼らが治すことを受けるようになるということと確認の手続きを踏んで正常な社会生活に帰りなさいということの意味します。イエス様は彼らに神様の言葉に対する信仰と従順を見せるように指示しました。彼らが祭司に行こうとすればイエス様の言葉を全面的に信じて従順しなければなりません。彼らは身に治療の兆しが何も現われなかったのにまるで治療を受けた者のように祭司に身を見せようと思ってきました。イエス様を信じるという言葉はイエス様のお話を信じることを意味してイエス様に従順するという話は彼の言葉に従順することを意味します。イエス様の言葉そのものよりもっと確かな証拠はないです。特定の団体や組織に入ってきたらなければならないとか、独特の現象や感じを体験しなければならないとか、自分が救いもらった日付を憶えなければならないという者等の言葉を無視しなければなりません。そのように教える者等は皆が宗教詐欺師です。“聖書に記録された言葉なので私は信じます。”“聖書に記録された言葉なので私は従順します。”と言わなければなりません。神様が私たちに要求することは正しくこのような信仰と従順です。

聖書に記録された神様の言葉が私たちの信仰と従順の理由で根拠です。聖書にイエス様に対してこのように予言された言葉があります。“律法はモーセをとおして与えられ、めぐみとまこととは、イエス・キリストをとおしてきたのである。神を見た者はまだひとりもない。ただ父のふところにいるひとり子なる神だけが、神をあらわしたのである。”(ヨハネによる福音書 1:17, 18) しました。また“イエスは、この書に書かれていないしるしを、ほかにも多く、弟子たちの前でなされた。しかし、これらのことを書いたのは、あなたがたがイエスは神の子キリストであると信じるためであり、また、そう信じて、イエスの名によって命を得るためである。”(ヨハネによる福音書 20:30, 31) しました。罪のらい病を治癒を受けようと思えばイエス様に出なければなりません。イエス様の哀れみを着ること願わなければなりません。イエス様を完全に信じなければなりません。この道しかないです。

第二、その九つはどこにあるのか？ というイエス様の質問は彼らが当然に なければならない席へ来ない事実を指摘し て教訓しています。

サマリア人は直ちに帰って来てイエス様の足の前に顔をつけて伏せて謙遜に感謝しました。イエス様がサマリア人におっしゃるのを“十人がすべてきれいさを受けなかったかその九つはどこにあるのか？この異邦人以外には神様に栄光を上げるに帰って来た者がいないか？”しました。イエス様が指摘したとおりその以外の九つ人がすべてきれいさを受けたにもかかわらず彼らは帰って来なかったし感謝しなかったです。“その九つはどこにあるのか？”という質問はイエス様による恵みをこうむったすべての人に向けた質問です。神様に感謝するに関して皆さん各自の位置を問う質問です。私たちはすべきことが多くて行く所が多くて会わなければならない人が多いです。しかしそのなによりも私たちに重要な事は神様に感謝する事です。神様に感謝礼拝を差し上げようと教会堂に集まって、神様に感謝しようと聖徒たちの集まりに参詣することがすべての事のまずにならなければなりません。

第三、九人はらい病を癒やされて身の感 覚がすべて生き返えたが感謝を感じる心 は麻痺の状態にあるというのを教訓して います。

九人は肉身のらい病は治ったが心はらい病人のように神様に対してありがたさを感じる事ができなかったです。感謝を感じる感性は各人の意志的な決断と関連があります。凡事に神様に感謝することに決断して行動に移し始めれば感謝を感じる感性がもっとゆたかになります。

パウロ使徒はエペソ教人たちのために祈るのを“どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の父が、知恵と啓示との霊をあなたがたに賜わって神を認めさせ、あなたがたの心の目を明らかにして下さるように、そして、あなたがたが神に召されている望みがどんなものであるか、聖徒たちがつぐべき神の国がいかにか栄光に富んだものであるか、また、神の力強い活動によって働く力が、わたしたち信じる者にとっていかに絶大なものであるかを、あなたがたが知るに至るように、と祈っている。”(エペソ人への手紙 1:17~19) しました。コリント人への第一の手紙 2章 10節には“そして、それを神は、御霊によってわたしたちに啓示して下さったのである。御霊はすべてのものをきわめ、神の深みまでもきわめるのだからである。”言いました。聖霊は私たちが神様が授けられたものなどを認識する能力をください。だから常に感謝を心の中深く感じながら生きて行くように聖霊充滿を切に求めてください。

第四、その九つはどこにあるのか？ という質問には感謝する九種を思いな さいという教訓があります。

この質問は私たちにに向けたことでもあります。神様に感謝する事が十種なのにただ一つ感謝だけ差し上げていないかをよく見なければなりません。感謝するべきが多いにもかかわらず感謝を表現する事が少ない人にはその理由があります。神様の恵みを当然の事のように思うからです。そして神様の恵みを偶然の結果と思うからです。神様に帰さなければならぬ光栄を偶然に帰してしまっています。だから神様に感謝することがないのです。神様に何をくれと祈る人は多いが受けたことを感謝する人は少ないです。皆さんは神様に何でも求めてください。そして神様が授ける恵みを一つ一つ推し量って凡事にいつも感謝する生活をなさってください。

五番目、イエス様がサマリア人に “異邦人以外には神様に栄光を持たせ に来た者がいないか？”

“あなたの信仰があなたを救われたと。”告げた言葉には感謝する者に恵みを加えてくださるという教訓があります。サマリア人はイエス様もとに帰って来てその足下伏せて感謝することでイエス様とずっと密接な個人的関係を経験することができました。神様に感謝する人は神様とずっと親密な交通を体験することができるようになります。イエス様はサマリア人に“あなたの信仰があなたを救われたと。”しました。サマリア人は肉身のらい病だけではなく霊的らい病である罪で自由を得て救いを得るようになりました。

聖徒の皆さんは神様から受けた恵みに対する感謝を積極的に表現しながら生きて行ってください。そんなにして“持つ者は受けて豊かになろう。”増えた恩寵を着ながら生きて行くようにお願いします。

イエス様はエルサレムへ行かれるとき、サマリアとガリラヤとの間を通られた。そして、ある村にはいられると、十人のらい病人に出会われたが、彼らは遠くの方で立ちどまり、声を張りあげて、「イエスさま、わたしたちをあわれんでください」と言った。イエス様は彼らをごらんになって、「祭司たちのところに行って、からだを見せなさい」と言われた。そして、行く途中で彼らはきよめられた。そのうちのひとり、自分がいやされたことを知り、大声で神をほめたたえながら帰ってきて、イエス様の足もとにひれ伏して感謝した。これはサマリア人であったイエス様は彼にむかって言われた、「きよめられたのは、十人ではなかったか。ほかの九人は、どこにいるのか。神をほめたたえるために帰ってきたものは、この他国人のほかにはいないのか」。それから、その人に言われた、「立って行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのだ」。律法によればらい病になれば祭司に癒やされたという確証を受けなければ家庭と村に入って行って生活することができないようになります。旧約聖書レビ記 13章にはらい病人で判明された者等が酔わなければならない処身法が記録されています。祭司はらい病人を診断しながら予防する責任があります。またこの病気が癒された時には祭司が牛膝初とともに鳥の血を取ってこの血をらい病人に振り撒いて浄潔礼式を行って速乾祭と贖罪祭をささげました。だから祭司に行って身を見せなさいということは病気にかかったということの意味する言葉です。彼らが行くうちに身がきれいになりました。彼らの中に一りが自分が癒やされたことを見て大きい音で神様に栄光をあげながらもどってイエス様の足もと伏せて感謝しました。イエス様がおっしゃるのを“十人がすべてきれいさを受けなかったか？その九つはどこにあるのか？神様に栄光をあげるにもどった者がこの異邦人外には誰もいないか？”しました。そして引き継いで“起きて行きなさい。あなたの信仰があなたを救われたと。”しました。それではこの事件の記録に啓示された神霊な教訓をよく見ます。

第一、この事件記録には救いの真理が啓 示されています。

本文に登場する十人の病人たちはもうイエス様に関して相当な情報を手に入れていました。病人だ者等を見ればかあいそに思ってなおして下さるイエス様に対してうわさを聞いたのです。イエス様を見ると可愛想に思ってくれと切迫するように叫んだことはこのような知識に根拠したのです。律法にらい病人は人々にちかづくことができないように規定されていて彼らは敢えてイエス様に身近に進むことができずに遠く立って叫びました。彼らにイエス様に対する正しい知識があったということと同時に彼らがイエス様に出て来て切に求めたということは彼らが治癒を受けるようになった決定的要因でした。すべての人は霊的に罪のらい病にかかった者等です。これを癒やされるためには私たちの罪を代贖したイエス様が分らなければなりません。そしてイエス様に出なければなりません。知識を得るために聖書を黙想することは奨励する事です。しかしイエス様に対する知識を持ってからもイエス様に来ない人は相変わらず罪の中あってそれによる滅亡が彼が経験するようになる結末になるでしょう。